

かけはし

沼島市立富士見丘小学校 令和7年4月7日

校長だより No. 55

稲垣 達也



令和7年度 「学年担任制」へ 移行！！

さあ、富士見丘小学校の新たなステージの開幕です。新たな挑戦の始まりです。正解のない未知の課題に挑戦することの少しの不安と、いっぱいワクワク感で、心が弾み、胸が高鳴ります。

先にお知らせした通り、本校では、今年度より「学年担任制」へ移行します。これまでの「学級担任制」は、学級経営を一人の教員が担うものですが、これからの「学年担任制」では、一人の教員に固定せず、学年教員全員で担当し、協働して学級経営を担います。

子供の目線では…



学級担任制は学級経営を一人の教員が務めますが、**学年担任制**は教員を固定せず、児童の指導、教科等の授業、事務などを学年教員全員がローテーションで担当し、協働して学級経営を担います。



【 学年担任制に期待される効果 】 再掲 (学校だより 令和6年度12月号より)

〔 児童・保護者にとって 〕

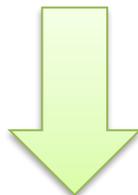
- 学年内のすべての学級を、学年の全教員が自分の担任する学級として、複眼的に見守ることができる。
- 児童の良さを見い出したり、変化に気付いたり、学年全体で情報共有し、早期かつ丁寧な対応ができる。
- 複数の担任がいるため、児童が話しやすい教員にいつでも相談することができ、児童の安心感が高まる。
- 学年共通の経営方針、指導内容、指導方法などが全学級に保証され、指導状況の透明性も高まる。
- 複数の担任と日常的に密に関わることができ、多様な考え方や人間性に触れ、多様性が身に付く。

〔 教員にとって 〕

- 教員と児童や保護者との関係性、教員の専門性など、一人一人の教員の強みを生かした指導ができる。
- ベテランと若手教員それぞれの利点など、教員間の連携・相互作用による人材育成に効果的である。
- 複数教員によるそれぞれの経験や知見を総合的に生かした学年統一した指導体制が確立できる。
- 教科担任制による担当教科数の減少、事務仕事の軽減など、教員の働き方改革につながる。
- 教員が様々な悩みや不安を一人で抱えることなく、学年共通の課題として分かち合うことができる。

【 円滑な実施に向けて、様々な視点で、校内で検討しています 】

【アンケート結果】 9割の方が学年担任制の効果に期待すると肯定的に受け止めていただいておりますが、一方で、5割の方が不安な気持ちであることが分かりました。



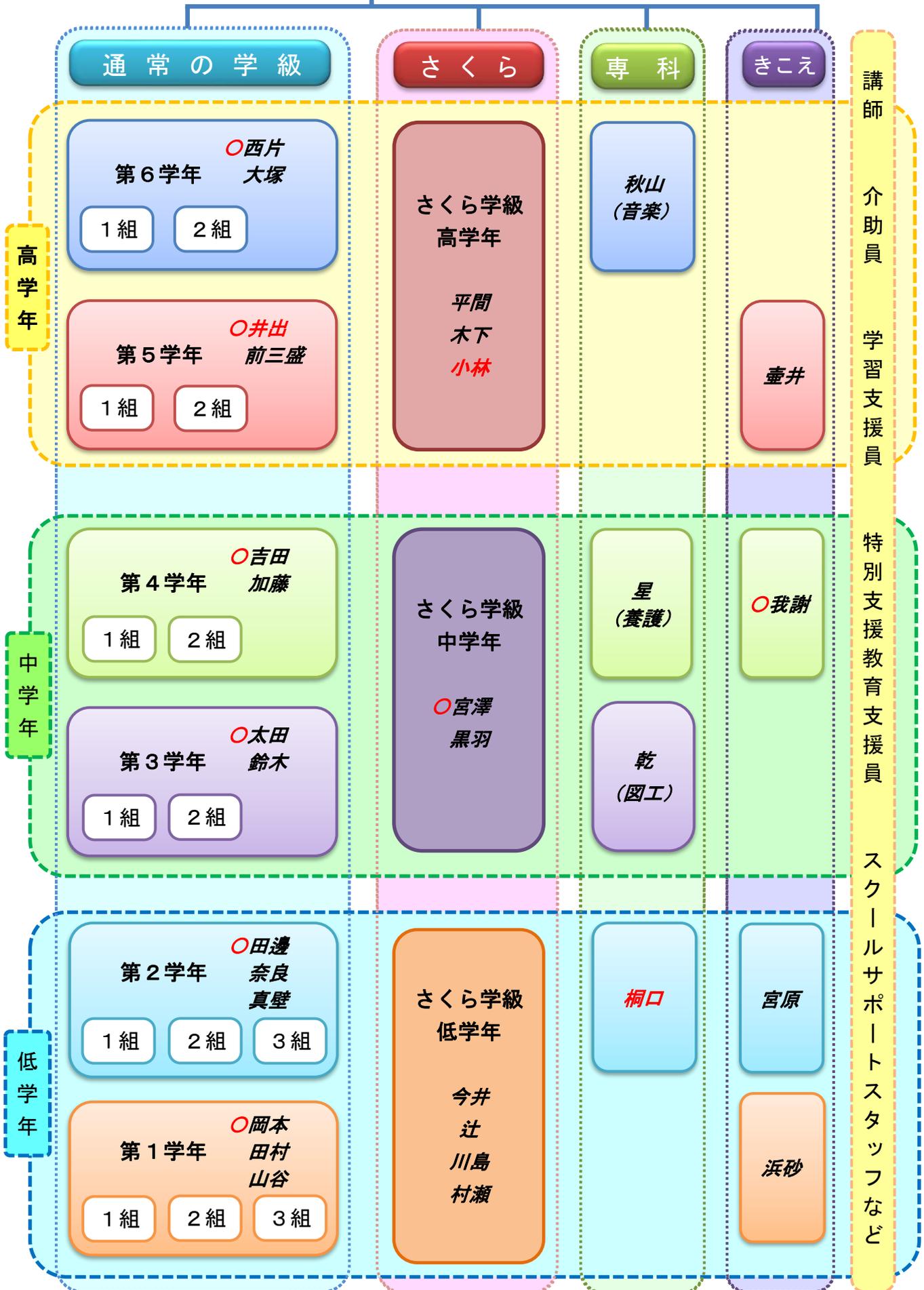
【保護者と学校との窓口】 当面の間、4月当初の学級担当の教員が窓口となりますが、他の学年担任はもちろん、どの教員に相談していただいても構いません。

令和7年度 ふじみ学年担任制 組織体制

校長

副校長

(○印：学年主任 赤字：主幹教諭)



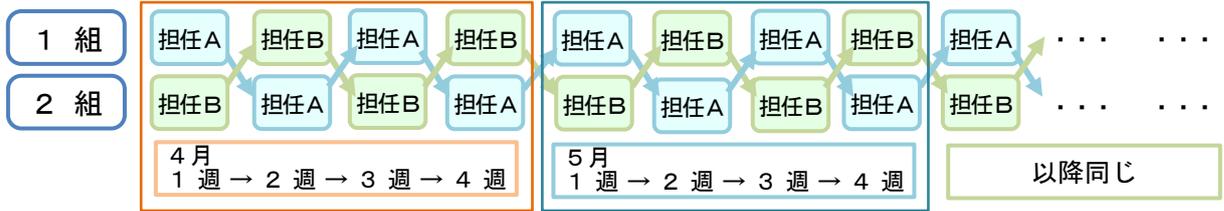
令和7年度 学級担任のローテーション (予定)

※ ローテーションの頻度や回数は重要ではなく、**学年の全教員が、学年の全児童の担任になることが目的。**

高学年 基本形

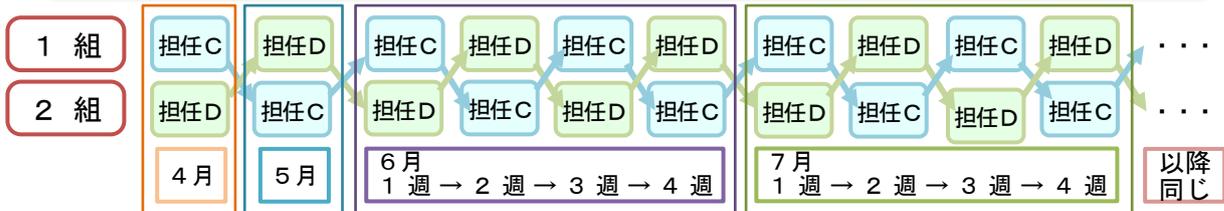
4月から週毎のローテーション (朝と帰りの会、給食、掃除など)

第6学年



5月まで月毎、6月から週毎のローテーション

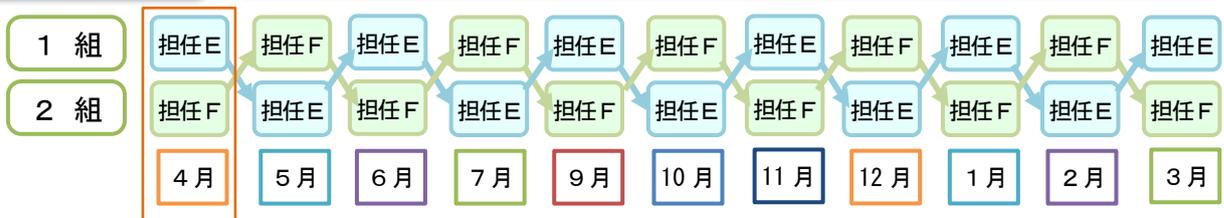
第5学年



中学年 基本形

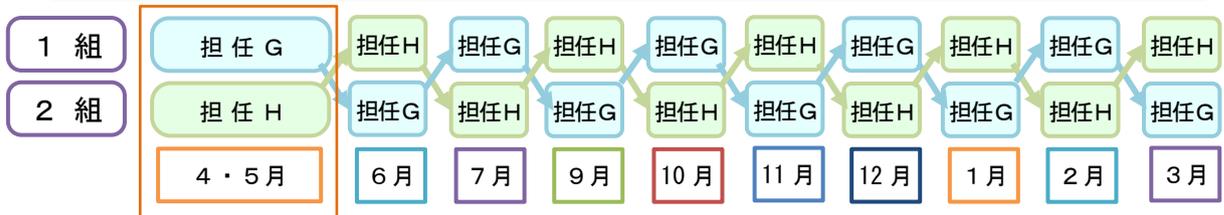
4月から月毎のローテーション

第4学年



5月まで固定、6月から月毎のローテーション

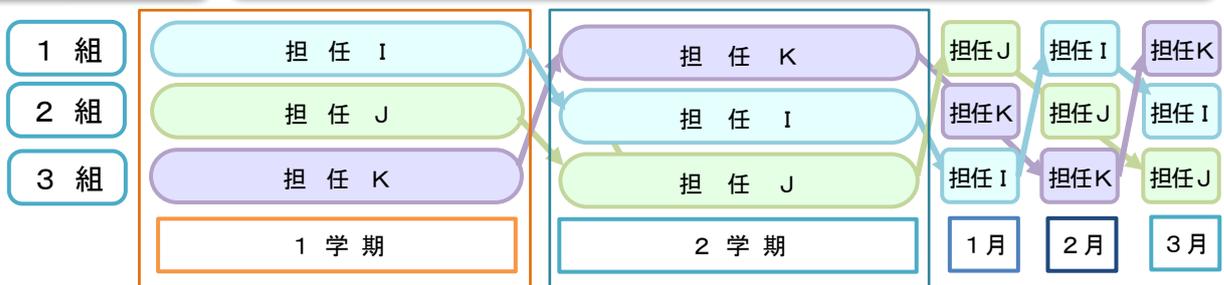
第3学年



低学年 基本形

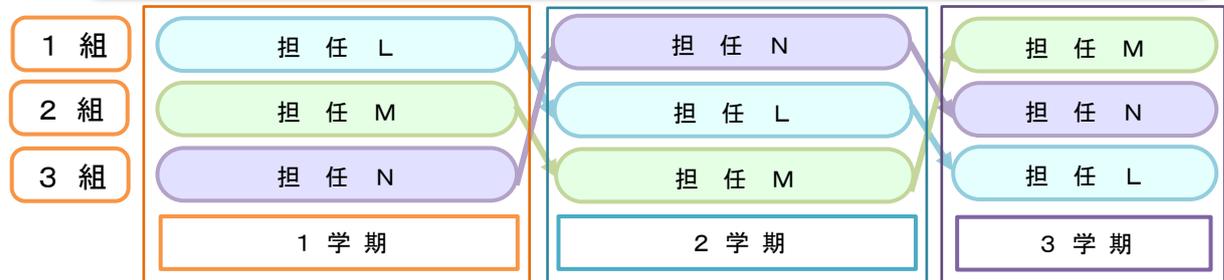
1・2学期は固定、3学期は月毎のローテーション

第2学年



学期毎のローテーション

第1学年



令和7年度 教科等の持ち方（例）

※ 自分の担当学級だけではなく、「**学年全体の教科指導**」に責任を持つ、という考え方で体制を組みます。

学級担任制は「1人の学級担任が全教科の指導を担う」ことが基本ですが、学年担任制では「複数の担任で学年全体の教科指導を担う」こととなります。具体的には、下記の通り、教科担任制や学年合同授業、算数以外でも習熟度別授業など、柔軟で効果的な指導体制が考えられます。

教科担任制で学ぶ

3年生は、2クラスとも〇〇先生が**道徳**、△△先生が**体育**を担当。
 4～6年生は、2クラスとも▽▽先生が**社会**、□□先生が**体育**を担当。
 また、3～6年生は、さくら学級児童の個に応じて通常学級と**共同で学習**。
 なお、さくら学級3・4年生の体育は、通常学級5・6年生の先生が担当。



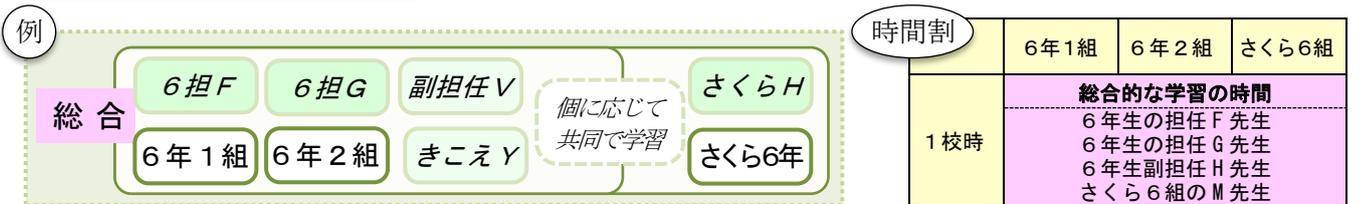
学活・道徳授業の担当制で学級指導

1～2年生は、3人の先生で学活・道徳・言語を分担して、**1人の先生が3クラスとも担当**。



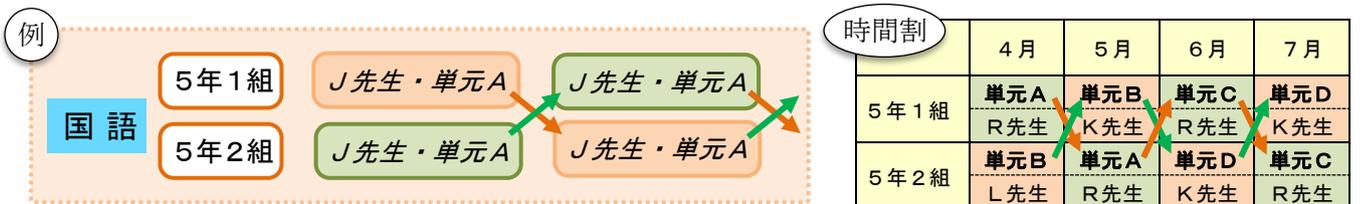
学年単位で学ぶ

3～6年生の総合的な学習は、**学年合同で探究グループを編成**して学習。
 また、通常学級とさくら学級の個に応じて**さくら学級と共同で学習**。



単元ごとに学ぶ

先生は2人とも国語を担当するが、教える**単元ごとに分担**することで、2クラスで授業を行う。



習熟度別に学ぶ

単元毎の**習熟度により学級編成**を行い、先生もローテーションする。
 例:1・2年生は、3学級5展開に、さくら学級を加えて、**4学級6展開**。

